

女性活躍推進業務〔予算額 7,520千円〕		社会文化部男女共同参画課 女性活躍推進係(23-7961)
財源内訳	一般財源 7,520千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費／講師等報償金 819千円、委員報償金 49千円、表彰賞賜金 54千円、普通旅費 8千円、消耗品費 62千円、 広告料 341千円、ワーク・ライフ・バランス推進委託料 795千円、女性就労支援委託料 4,650千円、女性活躍推進研修負担金 742千円	

【事業概要】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、女性が職業生活においてその能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりを推進します。また性別を問わず、職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能とするため、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。

新たな取組 テレワークを推進します。

女性、事業所の双方にテレワーク（※1）を支援します。

女性を対象に、時間や場所にとらわれないテレワークの提案や働くことへの意識啓発及び能力開発を実施し、事業所に対し人材確保として育児・介護による離職防止に対するテレワーク導入意義や事例紹介等を行います。

- 地域の中に埋もれてしまっている女性の人材発掘及び人材育成！
- 事業所に対してテレワークの試験的導入の支援！
- 自治体が主体となりテレワークを用いた女性就労支援事業は愛知県内で初の取組！

※1 メールや電子会議システムなど、ICT（情報通信技術）を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方



テレワークのスキル習得



テレワークの試験的導入



職場の活性化



女性の人材発掘及び人材育成

拡充 生活安心推進業務・地域防犯カメラ設置事業補助業務		市民生活部安全安心課 生活安心係(23-6525)
		〔予算額46,993千円〕
財源内訳	寄附金 1千円、諸収入 8千円、一般財源 46,984千円	
支出内訳	2款2項2目 安全安心推進費／●生活安心推進業務:嘱託員報酬 2,890千円、嘱託員共済費 484千円、事業協力者報償金 119千円、防犯意識啓発賞賜金 29千円、特別旅費 47千円、消耗品費 7,843千円、通信運搬費 198千円、揮毫手数料 15千円、看板製作委託料 499千円、防犯意識啓発キャンペーン委託料 281千円、機器保守点検委託料 65千円、機器移設委託料 74千円、夜間犯罪防止パトロール実施委託料 14,503千円、会場使用料 154千円、電柱共架料 5千円、(仮)井田交番建設用地整地工事負担金 1,739千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 48千円 ●地域防犯カメラ設置事業補助業務:地域防犯カメラ設置事業費補助金 18,000千円	

新たな取組 生活安心推進業務／簡易設置型防犯カメラ
「簡易設置型防犯カメラ」50台を導入し多発する犯罪に対し機動的に対応／地域の自主防犯意識を活性化



愛知県警察では、既に導入されており「侵入盗」の減少などの効果が実証されています。

(出典：愛知県警)

本市は平成30年の「侵入盗」認知件数が県内市区町村でワースト1位となるなど大変厳しい治安情勢が続いていることから、「簡易設置型防犯カメラ」50台を購入し、犯罪多発地域に一定期間、集中的に設置することで犯罪発生未然防止を図ります。

また、地域への「簡易設置型防犯カメラ」の設置により防犯カメラの効果を実験していただくことで、防犯カメラの設置を推進していきます。

地域防犯カメラ設置事業補助業務

- 交付先：学区総代会
- 補助率：5分の4
- 補助対象経費：防犯カメラ本体、工事費、看板

開始年度：平成28年度
設置累計：21学区、191台（平成30年度予定を含む）



災害対策設備整備業務 〔予算額 32,299千円〕		市民生活部防災課 防災対策係(23-6712)
財源内訳	県支出金2,300千円、一般財源 29,999千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費／消耗品費 10,473千円、建物修繕料 660千円、防災情報機器更新等委託料 13,416千円、 防災行政無線整備実施設計委託料 2,200千円、備蓄倉庫整備工事請負費 4,417千円、機械器具購入費 1,133千円	

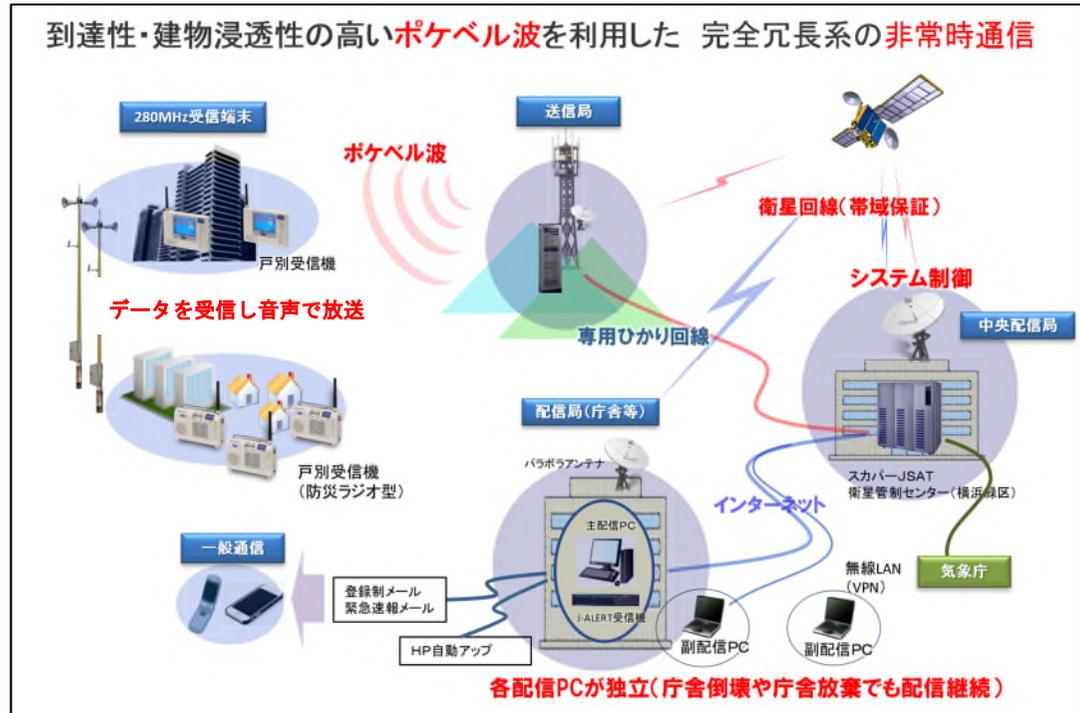
防災拠点の強化（備蓄倉庫の設置、備蓄品の配備等）及び通信体制の強化（防災行政無線（280MHz デジタル同報）整備実施設計、気象観測システム等の更新）を図ります。

『防災行政無線（280MHz デジタル同報）整備実施設計業務』

全ての市民が災害に関する情報を入手でき、自らの命を守る行動がとれるよう、本市の災害情報伝達手段を多様化することを目的とし、音声による情報伝達手段の一つである防災行政無線（280MHz デジタル同報）の整備を進めます。

【平成 31 年度の事業内容】 整備実施設計業務

○配信情報を入力するための配信局や、受信機への電波を発射する送信局等整備のための設計を行います。
 また、効率的な送信局の設置位置を決定するため電波伝搬調査を実施します。



河川・排水路改修事業 〔予算額 494,092千円〕 ※上地新川改修業務 始め4業務合算		土木建設部河川課 北西部係(23-6614)・南東部係(23-6235)
財源内訳	国庫支出金 4,000千円、市債 197,000千円、一般財源 293,092千円	
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／●上地新川改修業務:河川改修工事請負費 311,600千円、電線移設補償金 18,800千円、水道管移設補償金 25,500千円 ●六斗目川改修業務:河川台帳等作成委託料 1,320千円 ●河川改修業務:測量設計委託料 36,344千円、河川改修工事請負費 14,630千円、電柱移設補償金 2,000千円、事業損失補償金 9,270千円 ●排水路改修業務:測量設計委託料 11,275千円、排水路改修工事請負費 40,513千円、電柱移設補償金 2,000千円、水道管移設補償金 17,840千円、ガス管移設補償金 3,000千円	

○ 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川及び排水路の整備を行うとともに、流域での浸透事業による雨水流出抑制を進めます。

【主な河川改修事業】

- ・準用河川 上地新川 (河道改修、橋梁改築3橋)
- ・普通河川 ナカダ川 (護岸改修)



一級河川広田川の改修（愛知県施工）と連携して河道改修を進めています。

上地新川改修業務

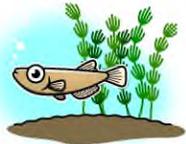


自然に配慮した川づくりに努めています。



【主な排水路改修事業】

- ・井内上堤・牧御堂水洗ほか
- ・浸透型排水路整備



総合雨水対策施設整備業務〔予算額 32,956千円〕

土木建設部部河川課
総合雨水対策係(23-6899)

財源内訳	一般財源 32,956千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／消耗品費 4,791千円、浸水対策施設設計委託料 3,960千円、総合雨水対策施設工事請負費 24,205千円

○ 気候変動により増加する大雨に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための**総合雨水対策事業**を推進し、水害に対して**安全安心なまちづくり**の実現を目指します。

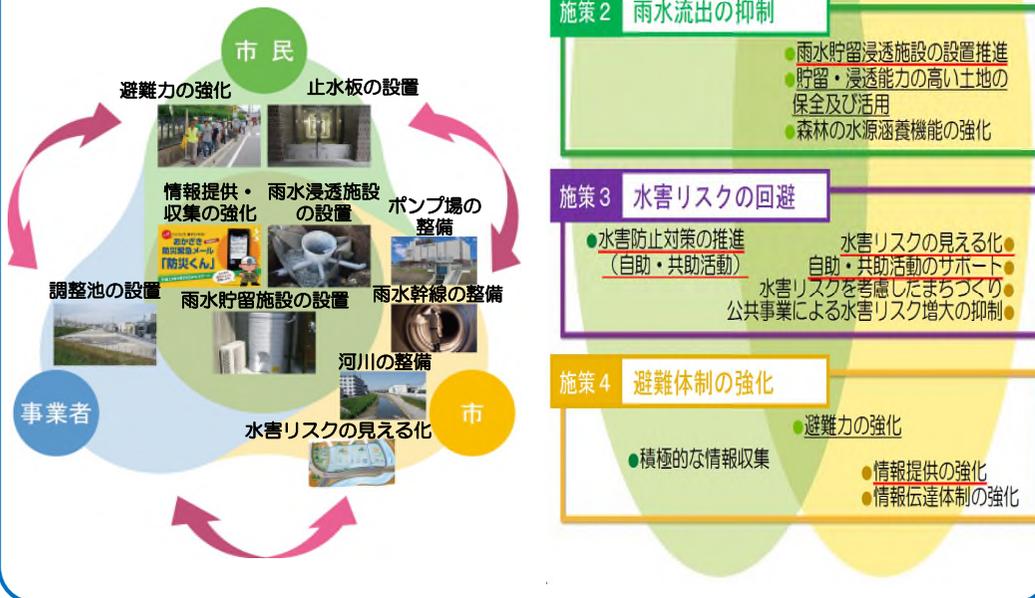
総合雨水対策計画（平成28年7月）

『大雨から“いのち”と“くらし”を守る』

～ みんなで力を合わせ、水害に負けないまちをつくる ～

30年確率降雨から“くらし”を守る

30年確率降雨（時間最大雨量70mm程度）に対して、**床上浸水被害解消**
『平成20年8月末豪雨』相当の降雨から“いのち”を守る
『平成20年8月末豪雨（時間最大雨量1465mm）』相当の降雨に対して、**人的被害“ゼロ”**



平成31年度の主な取り組み

施策2 施策3

自助・共助活動をサポートするソフト対策として、雨水浸透ます支給、止水板設置補助の継続実施。

施策3

水害リスク情報の周知啓発による、浸水被害軽減への取り組みを促進。

施策4

道路冠水による車両等の浸水被害を防止するための情報強化として、**浸水深表示施設**の設置推進。

浸水深表示施設（設置例）



消防自動車等購入業務 (予算額 263,831千円)		消防本部総務課 経理係(21 - 9846)
財源内訳	市債 178,000千円、一般財源 85,831千円	
支出内訳	9款1項3目 消防施設費 / 特別旅費 118千円、自動車リサイクル手数料 75千円、自動車損害保険料 184千円、機械器具購入費 27,381千円、自動車購入費 235,745千円、自動車重量税 328千円	

近年の複雑多様化する各種災害に対応するため、屈折はしご付消防ポンプ自動車をはじめとする消防車両等を更新し、安全で安心な市民生活を支援します。

消防自動車等を更新配備

事業の概要

- 屈折はしご付消防ポンプ自動車 1台
- 消防ポンプ自動車 1台
- 救急自動車 2台
- 小型動力ポンプ積載車 1台

以上を更新計画に基づき更新配備します。

